

## 「実社会と接続する学びを通して『自分ごと』になる社会的な自立」を促す教育の実現

### 【社会的背景】

- ・予測困難で変化の激しい時代
- ・多様性と包括性が重視される社会
- ・持続可能な社会の構築

### コミュニティの中で生きていく力の習得

- ①他者への信頼感
- ②社会生活を営む上で不可欠な知識及び技能

### 【これまでのキャリア教育】

- ・9年間を見通した体系的・系統的なキャリア教育の推進
- ・「はちおうじっ子キャリア・パスポート」の活用
- ・八王子青年会議所・東京八王子南ロータリークラブ等との連携した職業講話や職場体験活動

☆特に、児童生徒数の減少が著しい地域においては

多様性の理解と尊重→“個”的自立

「自分はどのように生きていくのか」  
→ 何を仕事としていくのか

地域の子どもは、  
地域で育てる  
という観点から

一定規模の集団の中で（多様性）、自分は何をなし（自立）、いかに住みやすい環境を作るか（社会の一員）

地域コミュニティの  
維持・発展

・これまで以上に実践的なキャリア教育が必要

・児童・生徒が一定規模の集団の中で、互いの多様性を理解し、尊重し合うことが重要

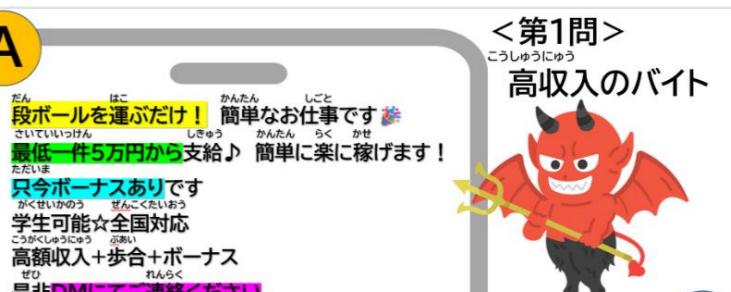
小学校第1学年（義務教育学校第1学年）から中学校第3学年（義務教育学校第9学年）までの系統的な教育を行う

教科等の学習内容を生活経験にひもづけ「生きた知識」にする

### 【キャリア教育×消費者教育】

- ・「闇バイトクイズ」…児童・生徒がSNSやインターネットの掲示板等で違法な「受け子」「出し子」等の「闇バイト」に応募しないよう、啓発を図るための資料を作成。（第5学年以上の児童・生徒が実施）
- ・「はちおうじっ子ミニマム」…社会生活を営む上で最低限身に付けるべき学習内容として、小学校第5学年修了段階の国語科及び算数科における基礎的・基本的な問題の中から抽出した問題各20問を義務教育修了段階までに全ての児童・生徒を全問正解できるようにする。（例：私は、1000円のサンダルを20%引きの値段で買おうとしています。代金はいくらですか。）

A



B

